

授業科目 解剖学演習

【担当教員名】 阿部 薫		対象学年	1	対象学科	義肢
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎					
【概要・一般目標：G10】 運動器としての四肢・体幹の骨、関節、筋、神経、脈管の名称と構造、および形態を理解する。					
【学習目標】 1. 四肢・体幹の骨、関節、靭帯について説明できる。 2. 四肢・体幹の筋の機能分類について説明できる。 3. 四肢・体幹の筋の局所解剖について説明できる。 4. 四肢体幹の神経と脈管の形態と位置について説明できる。 5. 四肢体幹の神経と脈管の局所解剖について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	体幹1（骨、関節、靭帯）			1	講義
2	体幹2（筋の機能による区分）			2	講義
3	体幹3（筋の局所解剖）			3	講義
4	体幹4（神経と脈管の形態と位置）			4	講義
5	体幹5（神経と脈管の局所解剖）			5	講義
6	上肢1（骨、関節、靭帯）			1	講義
7	上肢2（筋の機能による区分）			2	講義
8	上肢3（筋の局所解剖）			3	講義
9	上肢4（神経と脈管の形態と位置）			4	講義
10	上肢5（神経と脈管の局所解剖）			5	講義
11	下肢1（骨、関節、靭帯）			1	講義
12	下肢2（筋の機能による区分）			2	講義
13	下肢3（筋の局所解剖）			3	講義
14	下肢4（神経と脈管の形態と位置）			4	講義
15	下肢5（神経と脈管の局所解剖）			5	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		プロメテウス解剖学アトラス（解剖学総論／運動器系）第2版	ミハエル・シュンケ ほか	医学書院	2011・12,000円＋税・ISBN ：9784260010689
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、小テスト、最終試験			【履修上の留意点】 医学系学習の基本となる重要な分野のため、繰り返し復習し理解に努めること。		